

提供日 2023/03/27
タイトル 漁業者の甲子園で大臣賞を受賞した「用宗の若手漁師」が知事を訪問
担当 経済産業部 水産・海洋局水産振興課
連絡先 水産振興班
TEL 054-221-2744



漁業者の甲子園で大臣賞を受賞した「用宗の若手漁師」が知事を訪問

1 要旨

漁業者の甲子園「全国青年・女性漁業者交流大会」において、本県代表の「清水漁業協同組合用宗支所青壮年部」による発表が、最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。本県代表による農林水産大臣賞の受賞は15年振り3度目の快挙であり、この受賞を報告するため3月30日に知事を表敬訪問します。

2 概要

- (1)日時 令和5年3月30日(木) 16時00分から16時30分まで
- (2)場所 県庁東館5階 知事室
- (3)来訪者 清水漁業協同組合用宗支所青壮年部 所属
漁業者3名 (齊藤貴浩氏、青木拓磨氏、杉山喜規氏)

3 次第

- (1)受賞報告 ・大会の紹介 受賞の喜び など
- (2)歓談・活動の報告 ・ワカメ養殖やアカモク漁業の成果や苦勞 など
- (3)知事との記念撮影

<参考1> 全国青年・女性漁業者交流大会

- ・全国漁業協同組合連合会が主催で今年で28回目。
- ・都道府県の大会で選出された代表が、日頃の研究・実践活動の成果を発表。
- ・第28回大会は3月1～2日に都内で開催され、青年23、女性10の計33グループが参加。
- ・5部門に分類の上、部門ごとに、農林水産大臣賞、水産庁長官賞などが表彰された。

<参考2> 受賞発表の概要

タイトル	用宗はシラスだけじゃない！－「ワカメ」と「アカモク」の二刀流で地域活性化－	
部門	流通・消費拡大部門（発表数8）	
概要	活動内容	・シラス不漁の減収を補うためにワカメ養殖に取り組んできたが、近年は他県産種苗による養殖が不振に陥った。このため、既製品の種苗に依存せず、 地元のワカメを親とする自前の種苗生産に挑戦した。 ・一方で、ワカメ養殖量が回復しない場合に備え、未利用資源であった 天然アカモクの商品開発・販路開拓にも挑戦した。
	成果	・養殖ワカメの収穫量は劇的に回復し、生産コストも7割以上削減するなど、収益の大幅な向上に成功した。 ・天然アカモクについても、飲食店や焼津水産高校等とのコラボにより認知度を高め、養殖ワカメと双璧をなす収入源となった。